



週)報

2012~2013年度))) R I会長)田)中)作)次)
『奉)仕)を)通)じ)て)平)和)を』)
)))))))))第 2570 地区ガバナー)鈴)木)秀)憲)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)若松泰誼) 会長エレクト)栗原憲司))副会長)山室博美))幹事)稲見)淳

【第 3 グループ内の例会日】 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 909 回(8 月 7 日)例会の記録

点 鐘 若松泰誼会長
合 唱 国歌斉唱、奉仕の理想
第 2 副 S A A 宮野君、宮岡君
ビクター

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
30 名	22 名	71.43%	76.00%

会長の時間

若松会長

昨年、友人に誘われて経営コンサルタントの「しもやん」の愛称で知られる 下川浩二さんのセミナーに行ってきた。講演会も講師や主催者によっては“録音お断り”、“質疑なし”とか制限がある時もあります。



ところが、下川さんの第一声はこうでした。「このセミナーは録音やビデオ撮影は一切お断りしていません。ご利用はご自由に」また「私に無断でユーチューブ等に勝手に載せる行為が散見されましたけど目茶苦茶嬉しいです。」そして「著作権なんて私にとっては鼻クソみたいなものです。」でした。

一方では「講演した内容が録音され、CD になってどんどん出回ること、どういう現象が起きるかと言うと、その CD が自分の分身となって営業してくれる。」そしてそれが「面白い」「ためになる」「感動する」内容だとあっちこちでその人のファンが出来て行くんだ・・・と言われておりました。まだ若いのに話は面白いし、素晴らしいセミナーでした。参加費が 1 万円というのに参加者は全国各地から集まっています「あの方達もファンの方達なんだなあ」と思う程、魅力ある講演会でした。

ビッグな経営者や著名人の言葉を集めた「プレジデント名語録 200 選」(プレジデント社 秋葉道

博著)の中に下川さんが登場されておりました。その講演会の時の中身を少しお話をします。と言うか内容は「TTP・TKP・OKP」でした。これを TTP 3 段活用と言うそうです。

「TTP」とは「徹底的にパクル」

学ぶとは真似する事から始まる。先ず手本になる人を見つけて、その人の行動を徹底的に真似する。

「TKP」とは「ちょっと変えてパクル」

真似る際に少し自分なりの工夫を入れるのだそうです。

それが出来たら、最後に

「OKP」もうお分かりのように「思いっきり変えてパクル」

自分のやり方をふんだんに取り入れることで、真似をしているのに原形をとどめていない。

凄いですよね。これは武道や茶道、華道などで良く使われるそうです。

最初は師匠の教えを徹底的に守る。

そして最後は師匠の教えから離れる。

そう考えると下川さんの話は面白く、実に意味深であります。

そこで私も今年は思いっきり「TTP・TKP・OKP」の実践をして如何に見てきたように、如何に体験してきたように「会長の時間」を利用し、活用して行きたいと思います。

「人生はマネしてトクして楽しもう」下川浩二著、面白いですよ。(最新版)



モンゴル植樹たて看板

幹事報告

稲見幹事

1. 第3G、第4回会長・幹事会開催について
2. 地区クラブ共同事業について
「大学野球交流戦大会」
3. 第1回R財団セミナー開催について
4. 2012年度RLIセッション受講者について
5. 米山記念館・梅吉翁墓参、研修旅行について
6. 秩父音頭まつり参加について
7. 「さいたま打ち水作戦」事業協力について
8. 前年度第3G、IM収支決算書について
9. RIよりのオンラインツール「ロータリークラブ・セントラル」開設について
10. 受贈会報 飯能RC 所沢RC
所沢中央RC 所沢西RC
11. 回覧物 RI日本事務局財団室NEWS
難民を助ける会AARニュース

委員会報告

親睦活動))))))))))) 益子委員長)

お手元に資料が行っていると思いますが、モンゴル国旱魃防止対策植樹事業へ参加された皆さんから感想や今後の在り方等について写真と併せて小冊子を作りたいと思いますので、8月中旬に原稿を同伴者の方もそれぞれご提出頂きたいと思えます。よろしくお願い致します。

米山奨学生 金強重君

今、期末試験が終わって、ちょうど夏休みに入ったばかりです。夏休みの計画としては、キャンプに行きます。また、夏休み中に英語に力を入れたいと思っています。皆様のお陰で、期末試験はうまく実力を発揮することができ、本当に感謝しています。英語の実力をアップさせて、グローバルな人材になれるように努力したいと思いますので、これからもよろしくお願い致します。

祝 安全功労者総務大臣表彰受賞

奥富喜平会員

昭和43年2月 狭山市防火安全協会に加入
平成10年4月 同協会の会長に就任
(現在に至る)
平成23年5月 埼玉県危険物安全協会連合会
副会長に就任(現在に至る)
地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献を
されてこられました。

モンゴル国旱魃防止対策植樹事業報告

栗原(成)実行委員長

まず、私たちが訪問しましたモンゴル・ウランバートルにつきまして説明させていただきます。



行った感じだと気温が20~25、朝昼は10位にはなりませんが、そんなに寒さは感じませんでした。それと言いますのは、地図を辿っていきますと大体位置がサハリンの北緯47度、南はニュージーランドのクライストチャーチ、南緯の43度ですから、南北で地軸に少しずれがありますが、気候的には大体同じではないのかと思っております。東京は北緯35度です。

モンゴル国は、西の方、ヨーロッパサイドの方にアルタイ山脈がありまして、国境を接しているのが中国とロシアです。中国のすぐ裏にはウズベキスタンがあります。東には東サヤン山脈があり、その山脈を越えますとロシアのイルクーツク、バイカル湖があります。私たちが行きましたバヤンチャンド村はずっと草原で、植樹をした穴の所も土がありましたが、それより南に行きますとゴビ砂漠、続いて内モンゴルになります。内モンゴルはほとんど中国ですが、砂漠地帯になってしまうわけです。

ウランバートルにも川がありましたが、その川はセレンゲ川とヘルレン川と言いまして、東の方へずっと流れアムール川やウスリー川になり、日本海、オホーツク海に注ぐという雄大な土地柄になっております。

実際に植林した場所は、ウランバートルから北西に離れたバヤンチャンド村ですが、このように小さな村がいくつもありまして、途中草原が広がり、谷合には少し林がありました。どんな木か目を凝らして見ましたら、大体「ポプラ」と「白樺」の木でした。私たちがポプラの木を植えるのかと思っておりましたが、現地のNGOとフレロータリークラブが選んだものは「薬木」という、葉になる実のなる低木と、もう一種類、少し背の高くなる木の2種類でした。

来年につきましては私たちロータリーの中でよく検討し結論を出さなければいけないと思えますが、今年度の計画に対しましては植樹に25万円、皆さん個人で払った旅行費用以外にNGOとの交流、フレロータリークラブとの交流、ジグジット前大使に対しての通信費・活動費等で25万円、合計50万円の皆さんの寄付、尊いお金を使わせて頂きました。改めて会計報告をさせていただきますが、皆さん無事に自らの手で樹を植えることができたということは、価値があることではないかと思っております。

また狭山ケーブルテレビの有原さんにも行って頂きましたので、後程DVDで見て頂けると思えます。その時には報告させていただきます。

柴田副実行委員長

今回の植樹事業の発端は、4年前タミラ君を米山奨学会で世話するということから始まっております。タミラ君のお父さんが日本の大使でありました関係で、ジグジッドさんとお話する機会が多々ありました。そして卓話に2回も来て頂いた等々の積み上げの中で、この植樹事業の話が浮上した訳であります。



ジグジッドさんも大変責任を感じておられまして、やるからには成功させなければならないということをお頭から言っておられました。後でわかったことですが、フォレスト NGO の会長さんが彼のお姉様でした。

1年位前からマッチンググランド、ロータリー財団のお金を活用してもっと大きくしたいという思いがございました。しかしマッチンググランドという方法のためには現地のロータリークラブの仲間との関係が必要だということで、こちらもジグジッドさんに強くお願いをし、フレロータリークラブを紹介して頂きました。その後もスケジュールの調整等にはジグジッドさんに最後まで対応して頂いたことが今回の大変な成功につながり、彼に感謝するに超えるものはございません。本当に良かったと思っております。

実施2日前、ジグジッドさんより私に電話を頂き、ジグジッドさんご夫婦と会食をすることになりました。その時のお話を少しさせていただきます。最終日の前の晩、皆様が観劇をされているときにジグジッドさんに案内して頂き、彼の友人が1年半前に開業したレストランに行きました。その横には将来開業予定のホテルを建設中でした。レストランの一番奥の部屋に案内され、私の家内と一緒に談笑することができましたことは、私にとって幸運な機会であったと思っております。その際ジグジッドさんからは、このような縁になりこれからも付き合っていきたいという思いが強くでていたようで、私は聞き漏らしてしまったのですが、家内が個人的にもずっとお付き合いしたいというようなことを話していたと言っておりました。それは私も思ったり叶ったりでございます。そして来年次男の方が日本の国立大学を受けたがっているようで、その話もできて、場の活用は大いにさせて頂いて構いませんというお話をさせて頂きました。また彼のお兄さんに当たる方が代表で会社を興しております。カシミアのレースらしいのですが、その国内への売り込みのために、奥様が専務の立場で来ておられました。あらかじめ知っていたため、私は自分の友人関係のために10~15個くらいそうしたマフラー等を用意しておいて欲しいと依頼しておきました。会う直前に、栗原さんからも皆さんにお土産としても可能だからプラスで20個くらい用意して頂けないかというお話で、

それも急遽お願いし、今日皆さんにお渡ししたかと思っております。

最後に馬頭琴ですが、これも荷物になるが持って帰って欲しいということでした。弾けないのが残念でございますが、これはクラブのものにしたいので、その後の使い道は考えて頂き、当面は事務局に置いておきます。

私の人生にとっても大変ありがたい機会をロータリーから与えて頂いたことに感謝を申し上げて、今日の報告とさせていただきます。

吉松副実行委員長

モンゴルの現在の経済につきまして、本当は行く前に皆さんにご報告したかったのですが、昨日届きましたため、遅いのですが一応お話をさせていただきます。



モンゴルの昨今の事情、世界的にも実質のGDPは、第1位:カタール18.2%に次いで第2位:モンゴル17.26%だそうです。以下トルクメスタン14.7%、ガーナ13.61%、東ティモール10.6%とどうも発展途上国が続いております。これからの国々は、豊富な資源を背景に世界中から投資が集まることにより成長していますが、世界のGDPに占める進行国、途上国の割合は40%に達しており、途上国も見逃すことはできませんということでした。

モンゴルの場合は南のゴビ地区で採掘されている石炭、銅、金、石油、モリブデン、蛍石等の鉱物資源が成長の原動力で、石炭と銅で輸出の90%を占め、その殆どが中国向けに輸出されているそうです。今年も17%台の成長が見込まれているものの、中国経済の減速は懸念材料だということです。またモンゴルは鉱物資源の他に、カシミア、キャメル、革製品もあり、草原の遊牧民生活を体験できる夏の観光も好調で、テレルジ、私共の行きました国立公園のゲルキャンプでも、首都のウランバートルでも、日本・韓国・ドイツ人等の観光団体を多く見かけられます。

市内に近代的なオフィスビル、私共が見たものはマンションが多かったのですが、大体50㎡が500~700万円位だそうです。今物質が入らず、12階建ての建物にエレベーターや水が入らず、私の知人は12階まで水を持って歩いたと言っておりました。2008年のリーマンショックのようなことがありうる可能性があるという心配もしておりました。市内の道路はご覧になりました通り凸凹でした。ODAで日本もかなり出しているようです。12年前に私はインドに行きました。インドも非常に道路が悪いのですが、日本のODA、10億円の内9億円は政府に流れてしまい、1億円で道路ができていたと言っておりました。聞いてはおりませんが、今回のモンゴルもそうなのかと思ひながら過ごしておりました。

また今回も大統領選挙がありまして、今後どうなるかわかりません。政権が変わる度に法律が変わってしまい、14階建てが10階に直されたり、平気でそうしたことを行ってしまう国だそうです。そのため投資等しない方が良いと言って帰ってきましたが、その投資をしたハマコーさんが先日亡くなりました。

最後に、財団について少し触れさせていただきます。7月23日に財団の件で、ガバナー事務所に行きまして。ガバナー事務所でも私の申請書を、地区本部の財団委員会に提出して頂きました。結果は惨憺たるものでした。補助金奨学委員長の茂木聡さんに窓口になって頂き、そして勿論その前に財団委員長・松本さん、そしてガバナーを紹介して行っているわけです。

結果と致しましては、「先日、砂漠化防止の植林はマツチングランドにご連絡頂きましたが、本部に確認した所、砂漠化防止の植樹・植林のプロジェクトの承認は厳しい状態です。モンゴルにおける砂漠化防止の植樹・植林のプロジェクトは、以前にもマツチングランドにて申請がありましたが、承認にかなりの時間がかかっており、プロジェクト達成についても不透明な部分があるようです。プロジェクト達成目標に関する明確化を含め、実施国側共同提唱者にもご相談頂き、再度ご検討願いたいと思います。ご不明点がございましたらご連絡下さい。」とのことで、財団の日本支局に連絡をとって打ち合わせをしなければ駄目だということが書かれております。しかしこれだけ反応があったことは我々にとっては非常にプラスだと思っており、これでめげずに一日も早く承認して頂けるよう努力致しますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。



次の例会

第2副SAA 野口(建)君 野口(留)君

8月28日(火) 12:30~13:30

外来卓話

本田技研商品開発

有澤 徹 様

- 若松君 母校が宮崎代表で52年振り、夏3度目の甲子園出場。嬉しいです。10日の日に応援に行って来ます。
- 江原君 前月28日から今月1日までモンゴル植樹事業に同行して参りました。日本の素晴らしさ、利便さを改めて知りました。機会を頂いた事に感謝しております。ありがとうございました。奥富会員の安全功労者表彰受賞おめでとうございます。
- 寶積君 満天星は見られませんでした。多くの友情が深められました。
- 栗原(成)君 モンゴルの植樹、無事成功いたしました。ご協力ありがとうございました。
- 益子君 モンゴルでは妻共々お世話になりました。
- 中谷君 体調が悪くて欠席が続き申し訳ありませんでした。
- 奥富君 安全功労者総務大臣表彰を受賞しました。これからもよろしくお祈りします。
- 小澤君 モンゴル訪問、ご苦労様でした。皆様の熱意に敬意を表します。
- 会員誕生祝 稲見君
夫人誕生祝 沼崎君
結婚記念日 益子君